

みどり保育園交通安全母の会では園児たちの交通安全を願い、二月上旬農協玉米支所前にジャンボ雪ダルマをつくりました。(写真)

母さんたちの愛情を示すかのように、どこかオッパイに似たこの雪ダルマ、園児や地区民からなかなかの人気を集めています。

一件百万円以上の事業個所
および事業費、事業の種類、
請負業者等は次のとおり。

【橋梁】▼横渡橋——千百八
十二万六千円——瀬建設（由
利町）

町民県税や事業税など
3月15日が申告期限
三月十五日は、町民県税・事業税・所得税の確定申告等の期限です。めんどくさがらずに国税務課や税務署に相談の上、必ず申告しましょう。

—臨席者の感想—

今回の「知事訪問」の懇談会に臨席した団体代表数人に、その感想を寄せてもらいました。

(順不同)

小番鉄平さん
(町商工会理事)
①本町に対して県の積極的な後押しがあることを知り、将来の町造りに大きな可能性を感じ、自信を深めた。
②時間が少く、

本町の実情など十分懇談できないのが残念だった。

阿部祐次郎さん(町老人クラブ連合会副会長) ①町民の要望が町を介して県にストレートにつながっていることを知り非常に力強く感じた。
②老人といえども、自主性をもって町、県勢の発展に努力しなければならぬと感じさせられた。

小松正美さん(町連合青年会理事) ①県と町との間に太いパイプが通じていることを始めて知り、心強く感じた
②出席者を特定範囲に限定せず、できるだけ多くの町民が

参加できるよう配慮がほしい。③知事とじっくり語れる余裕のあるスケジュールであってほしい。

畑山マサエさん（町連合婦人会長）①知事が若々しく県勢発展に情熱を燃やして努力されている姿を見て頭のやがての思いがした。②町民の要望が県に直接つながり、積極的に取り組まれていること。③聞き、頼もしく、県民であることに誇りを感じた。④生涯教育などを通じ、婦人会活動などを一層充実させなければならぬ使命を痛感させられた。

老小で親子モチつき大会

ベッタン、ベッタン；親子一体のモチつきに周囲からヨイッショノヨイッショノの声援がとぶくったくない親子の笑顔が広い体育館にあふれ力モチや親子モチが次々とつき上げられる；二月十五日、老万小学

校でPTA主催のモチつき大会が開催され、親子が楽しい一日を過ごしました。

当日は日曜でしたが、学校側がPTA行事に都合がよいように振りかえ授業を行ったもので、授業参観などが行われたあと午前十一時頃から各学年単位に一斉にモチつきが

開始されました。

体育館に準備された六つのウスには、それぞれ「力モチ」「親子モチ」などの名前がつけられた、約四十五センチのモチ米が会場に運び込まれると、子どもたちの間から大きな歓声があがり、直ちにモチつきが開始されました。

母と子の二人がかりでキネを持つ低学年児、ヨイッショ、ヨイッショのかけ声の応

周囲の声援をうけ歯を食いしばってモチをつく

学年児、キリッ
とハチ巻きをし
た児童たちの一
挙一動を親たち
の笑顔が追ひ、
広い体育館には
終始笑い声がこ
だましていまし
た。

約四十分かけ
てつき上げられ
たモチは、母さ
んたちの手で素
早くデコンモレ
や雑煮にされて
楽しい会食にな
り、午後には映
り、なども行わ
れ、一日に終始

51年度
 をしたがいずれも地下水の絶対量が少い。石沢川からの揚水の方法はコスト高になるのだからも困難である。利用できる適当なかんがい用水などがあるとすれば今後も研究して行きたい。歩道の除雪は住民協力を願ひながら町と共同で実施したい。

②五十一年度の公共事業は景気浮揚対策として当初から二十割増で計画されており、県の要求は全額認められているので、県全体として前年より伸びることは確かである。開場整備に關連する道路改良は無条件で別枠予算でも考

館合・老木
 ・大琴・蔵
 の四地区に
 ついて調査

と述べ、同地区開発に対する県の積極姿勢をうち出ししました。

また、山村開発センターへの補助については、県単補助制度の総点検で整理統合を実施中であるとしながらも、これに限っては全県的に数ある件数でもないのでも十分考慮して行きたいと、制度の存続を訴えました。

さらに、特用林産物の生産改善施設事業への補助については、山村開発の中で大きな期待が抱ける部門なので、県財政を考慮しながらできるだけ要望に応えたいとする考えを示すなど、三回目を迎えた知事の市町村訪問は、町政と県政のパイプをますます強く盤固にしたことを、町・県政

3回目を迎えた知事市町村訪問

ちに町三役
や各課長・
町議会議員
および農委
・農協等の
町内各機関
・団体長な
ど約四十名
が待ちうけ
る会場に臨
みました。

まず最初
に知事が、
一昨年来三
回目にあた
る本町訪問
の趣旨を含

国道一〇七号線のうち
奥ヶ沢・蔵間および八日
町・板戸間は舗装の老朽
化と損傷が甚しい上、決
いで早期改修をお願い
したい。

同線は一次改築が未完成な
ので、まずもってその完成をは
かり、その後に拡幅や必要に
応じてバイパス設置等二次改
築に取り組みたい。舗装の老
朽と損傷には当面オリーブレ
ーンやハッチングで補修して
行きたい。

第一種特殊改良の枠が五十年一度で終了するが、その後は予算枠に制限されない道路改良の制度で継続し、できるだけ早期に完了できるように努力して行きたい。

路線変更

仁賀保・矢島・館合線
の路線変更については昭和四十九年度も要望し検討いただいているが、今後の見通し等について伺いたい。

色々調査を実施して来たが、現行法上は実現が困難と見られる。五十一年度に限り、町

て行きたい。

は 困 難 **県 道**
矢 島 線

本町の畜産振興の面から保呂羽山地域における基幹牧場の設置を早期に着手されたい。

出羽丘陵開発の中でも畜産振興に大きなウエイトを占めており、基本調査が五十二年で終了するので、その後

で技術的指導を行つてゐるのでその機会を利用されたい。

積雪寒冷地での農業生産性を高めるために行う通年施行の圃場整備事業に対する国庫補助金の増額を取りはからわれた

い。

これまで国にも積極的に働きかけが来たが増額は不可能という見通しであり要望には添いかねる。一〇^ア当たり四万円は県費で補償したい。

県側 法内線は今後も継続

たい。あわせて路線の変更や改良など将来に備え調査もして行きたい。

路線変更は困難

矢島線

知事一行に町の要望を説明する小松町長

農山村地域における簡易水道の施工技術について県の指導体制の強化を願いたい。

来町の趣旨を説明、あいさつ
を行う小畑県知事

神岡・坂部・横渡線（法内線）は保呂羽山開発の重要路線でもあり、桂で狭く損傷も大きいが、さし

県が発注する土木・農
林業施設工事等について
その情報を町村に円滑に
流してはしい。

従来も実施して来ている
今後一層充実させたい。

保呂羽山地域の基幹牧場
十分考慮したい

公共事業の伸び 確実

道路改良は別枠でも

また以上の八項目に關連して議員の一部から提起された①流雪溝の設置と歩道の除雪②公共事業の促進と道路整備の促進③に關しては次のやうに回答が寄せられました。

①流雪溝

山村開発センター
補助制度の
存続を示唆

県への要望事項などに対する一応の回答が寄せられたあと、①出羽丘陵開発センター県補助金制度の存続。③特用林産物生産改善事業への県補助金など三件をテーマに県則と熱心な懇談が行われました。

小畑知事は「出羽丘陵地域は、秋田県に残された唯一の開発可能地域であり、将来への大きな可能性を秘めている

山村開発センター

補助制度の
存続を示唆

婦人の役割を学び合う

法内分館で婦人研修会開催

町公民館法内分館(遠藤庄二部分館長)では二月六日、克雪管理センターに本荘農業改良普及所の伊藤美奈子生活改良普及員および県教育事務所由利出張所の工藤喜久子婦人教育指導員を招いて婦人研修会を開催、三十数名の婦人たちが料理の実習やレクリエーションあるいは講話や討議などで意義ある一日を過ごした。

本荘農業改良普及所の伊藤生活改良普及員は、①本町では特生活改良普及員を講師に行われた食生活改善の研修では、緑黄野菜や油脂・乳類の摂取量が極端に少ないという過去に、②加工食品や塩蔵などの保存食品に頼る傾向が強く、その分野ではすぐれた技術がある材料によった工夫を加えることで必要な栄養素を補えること、揚げ菓子などの実習を行いました。

春を待つ 園児たち

(永保園)



オニは外ノフタは内ノ春を待ちこがれる園児たちの元気な声が新装の園舎いっぱい響きわたる。

大オニに見たてた保母さん

元気に節分の豆まき

二月四日は節分、新装の永保保育園では、赤や青など思い思いのオニの面をつけた園児たちが、豆まきを大オニめがけて元気に豆をまき、春を迎える恒例の節分行事(写真)を行いました。

「多収は深耕と堆肥で」

共 県大豆 鈴木さん 優秀賞 獲得

大豆の自給率を高め、あわ／＼が大豆の部で優秀賞を獲り、同共励会会長土肥県農協中央会長から賞状と賞牌を贈られた。

大豆の自給率を高め、あわ／＼が大豆の部で優秀賞を獲り、同共励会会長土肥県農協中央会長から賞状と賞牌を贈られた。



本荘普及所員から伝達を受ける鈴木さん

杉江 酸性草地に再び警告

七会場 家畜講話会開催

一月下旬から二月月上旬にかけて、由利農業共済組合家畜診療所(杉江謙一所長)が中心となり町内七会場で行った家畜講話会を開催、各会場に集まった二百人近い畜産農家から喜ばれた。

同講話会では、同診療所でも指摘、双方に共通すること、酸性草地の酸性化に因る害、草の基盤を強固なものにするために杉江所長の警告を聞き流すことなく、実践に結びつけよう、と、話合っていました。



家畜の病気と酸性草地の因果関係を説明する杉江氏(克雪センターで)

豆類の自給率を高め、あわ／＼が大豆の部で優秀賞を獲り、同共励会会長土肥県農協中央会長から賞状と賞牌を贈られた。

大豆の自給率を高め、あわ／＼が大豆の部で優秀賞を獲り、同共励会会長土肥県農協中央会長から賞状と賞牌を贈られた。

最低気温 新記録 14日に氷点下21度

二月十四日、町内随所で水道管の凍結や破裂事故が相次ぎましたが、今日の最低気温が氷点下二十一度で、本町観測史上の新記録となりました。

これは前日(十三日)に珍らしい快晴で放射冷却作用があったこと、日本海上空に大寒気団があったためと見られています。

今月中はこうした放射冷却作用による気温の低下で水道管の凍結する日もあると考えられるので、止水栓など凍結防止に注意が必要です。

智者 鶴・小倉

南北からダブルパンチ

三棟全焼、損害七百万円

年頭の出初め式で無火災の決意を誓ったのもつかの間、一月二十七、二十八の両日、町内で相次ぎ二件の火災が発生して三棟を全焼、一昨年の六月以来更新し続けて来た建物無火災記録は町の南北からダブルパンチをうけた形であえなくダウン、五百八十四日目でゼロオドがうたれ、関係者から残念がられています。

無火災記録 住家一棟一五・七平方メートルを全焼したもので、原因は屋根の雪下ろしではずれた風呂の煙突から火の粉が屋根裏に飛び火したと見られ、損害額は約三百万円にのぼると見られています。

二月二十七日、午後五時過ぎ、相次ぎ形で翌二十八日深夜に小倉部で発生した火災は、出火場所が町消防団第四分団所属の消防機械格納

15日から防火査察

東由利分署

今年に入りすでに二件の火災が発生、うち一件が煙突の不備によるものであることを重視した本荘地区組合消防署東由利分署では、三月十五日から同末日にかけて、再び町内全世帯の防火査察を実施します。

暖房器具を使用し始めてから数ヶ月になっており不備が目立つ時期でもあり、各家庭で査察前の自主点検を行うよう指導しています。

査察の重点事項は、火気使用器具、設備の取り扱いと管理の適否などです。



克雪管理センターで食生活改善を学ぶ婦人たち

年金通信

4月から月額1400円に 一保険料改正

誰が必ず迎える老後、あるいは予期しない障害者や母子世帯となつたときの生活保障に役立つ国民年金に役立つ。

国民年金は、こうした時代の推移や物価の上昇に対応した実のある年金制度とするため年々改善がなされていくが、このたびも将来の年金制度をより充実したものにするため四月から保険料の額が改正され、加入者負担が一カ月千四百円に引き上げられる。

保険料は従来より加入者負担が三分の一、国の負担が三分の一であり、今回の改正に伴って国の負担分



今回の鈴木さんの上位入賞を機に、遊休地などわずかの面積にでも栽培を心がけてほしい、とのぞんでいます。

鈴木さんは、換金作物としての大豆栽培は「多収のためには深耕と堆肥の投入がポイント」と話しています。

無火災記録584日目でダウン

年頭の出初め式で無火災の決意を誓ったのもつかの間、一月二十七、二十八の両日、町内で相次ぎ二件の火災が発生して三棟を全焼、一昨年の六月以来更新し続けて来た建物無火災記録は町の南北からダブルパンチをうけた形であえなくダウン、五百八十四日目でゼロオドがうたれ、関係者から残念がられています。

無火災記録 住家一棟一五・七平方メートルを全焼したもので、原因は屋根の雪下ろしではずれた風呂の煙突から火の粉が屋根裏に飛び火したと見られ、損害額は約三百万円にのぼると見られています。

二月二十七日、午後五時過ぎ、相次ぎ形で翌二十八日深夜に小倉部で発生した火災は、出火場所が町消防団第四分団所属の消防機械格納

お悔み申し上げます

小松 コウ 66歳 中通 66歳

横山 ミヨノ 72歳 智者 鶴 82歳

佐藤 幸一郎 70歳 田代 70歳

小野 ミチヨ 71歳 下通 71歳

めきられ、全日制移行二年目を迎えた本荘高校下郷分校の受験希望者は、定数四十六名に対して五十一名で、競争率には県内公立高校平均をわずかに上まわる一・一倍に達しています。

51年度 予算編成作業大詰め

前年比26%増、初の11億円台に?

一般會計

▼ 厳しい地方財政の中で、昭和五十一年度予算案の編成作業が大詰めを迎えています。一般会計予算規模は前年度当初比約二六・六増で初の十一億円台になるものと見込まれています。

この大幅な伸びの最大要因は、昭和五十一年度予算は、五十年八月災害の復旧事業費約一億七千万円が計上されるためであり、人件費や物件費など義務的経費は前年比八割程度の伸びにお

響で、地方交付税財源となる法人税など国税三税の減収があげられ、これまで毎年二〇割前後の伸びを示していた地方交付税が五十一年度では一割程度しか見られていないことが大きな特徴です。

歳入ではまず第一に、一昨対前年の三九割増で計上され

歳入総額の一四割を占めることもあげられます。

町財政のこうした窮迫の一因に福祉医療費の増加なども考えられますが、町では経常経費はできるだけ圧縮し、厳しい中にも生活環境整備や福祉を後退させない予算案にしようとの最後のつめを急いでいます。

小田山スキー場で初の大会開催

蔵小二

昨秋、蔵小学校PTAがやぶ地を刈り払って造成した小

易、または同和混血、宗教(仏教)による教化などの過程を経ながら狩猟から稲作へと移行、これに要した期間も二

易、または同和混血、宗教(仏教)による教化などの過程を経ながら狩猟から稲作へと移行、これに要した期間も二

土石器・遺物は「宝」……

発見と整理保存を

井島久三郎

(下)

ふるさとに寄せる



つまりアイヌまたは別種族の両論はあるが、いずれ狩猟を目的に高瀬川をさかのぼり狩猟小屋を設けて住みつくようになつたものと思われる。そしてこの先住民の居住生活期間は相当長い期間であり、日本人の祖先が住むようになってから現在にいたる

区に入つたかについては、おおよその推定はできるものの、私たちが考えているよりは大部おそい年代でないかと推考される。

そして、ちょうどアイヌ人が和人におかれた北海道の例のように武力(武器が石器で前者の鉄器とは全くちがっていた)あるいは交

安時代の後期でないかと推定される。

しかし、学界で問題となつていいる中山郷「助河駅」が宿大琴の有力説であることから、これが東由利地内であると確定すれば、郡内では最も早く開けたことがその年月とともに判明するので、飛鳥時代までさかのぼることになる。

も早く開拓されたことが、各種資料で裏づけられている。

こうして今より約五百年ぐら

つとめなければならぬ。

私も関係町村の郷土史やその他の文献などから、断片的ながら東由利に関係ある資料を集めているので、機会があれば提供したいと考えているし、郷里の先輩者からも種々ご教示願えれば幸いである。

同講座は五十一年度も開催が予定され、四月か五月頃には受講生の募集が行われるという事です。

また、同講座の発足十周年記念式が二月二十五日日本市で盛大に開催されました。



大会風景(菅原校長撮影)

二学期早々から数回にわたりスキー教室を開催、児童たちが滑降や回転など基礎的技能をみっちり学んでいただけに児童たちは元氣いっぱい大会にのぞみ、親子が一体となり滑降や回転、ミカン拾いやスノーボードなどで楽しく冬の一日を過ごしました。

電話の新設と改番

このほど次のとおり電話の新設と改番がありました。

【新設】▶鳥電子(株)2042番▶渡辺勝男(下小路)3137番▶長谷山貞子(横小路)3138番▶東由利ニット(大琴)3430番▶永慶保育園(蔵)3101番▶嶽石友治郎(五海保)3016番。

【改番】遠藤光蔵(新田)3017番▶畑山松男(宮ノ前)3018番▶佐藤謙(寺田)3007番▶小野与四雄(同)3005番。

電話料は口座振込みで

東由利電報電話局では、電話料の払い込みは、便利な口座払い込み(農協か信用金庫の預金口座から自動的に払い込まれる方法)にするようぞんでいます。

口座払い込みの手続きは、預金通帳に用いている印鑑を添え、窓口でその旨を伝えるだけで簡単にでき、以後毎月自動的に払い込まれ領収証が各戸に配られます。

「婦人電気教室」閉講

本荘市で10周年記念式も

東北電力本荘営業所の大きなテコ入力で、町公民館が共催の形をとって婦人を対象に続けられて来た「第三期くらしの電気教室」がこのほど終了、町公民館学習室で修了式が行われました。

同講座は五十一年度も開催が予定され、四月か五月頃には受講生の募集が行われるという事です。

また、同講座の発足十周年記念式が二月二十五日日本市で盛大に開催されました。

報町利由東

№. 2 3 2 の ② 昭和51年(1976) 3月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK木間印刷所
毎月1日発行(1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可

小中卒業式日程

町内小中学校の卒業式日程は次のとおりです。
▼15日 東中。▼16日 住吉小・玉米小・宿小▼17日 袖山小・老方小・蔵小。

注意！ 出かせぎの

死亡事故相次ぐ

新潟県や栃木県下で県内や山形県の出かせぎ者の死亡事故が相次いでいます。就労上の危険防止に細心の注意を払いましょう。

盛会で意義深く

出かせぎ留守家族懇談会
朋楽荘に二百六十人が集う

二月十五日、老人いこいの家朋楽荘を会場に、町主催の出かせぎ留守家族懇談会が開催され主婦など二百六十人余りが参加して大盛会をきわめ意義ある会となりました。

町が各地区ごとに運行した福祉バス等で会場を訪れた主婦たちの数は、同施設が始まって以来という大人数に達し、八十歳近い大広間もさすがに身動きができないほど混み合いました。

まず小松町長が、担当職員を深めました。また、産経課の担当係が一月二十日から同月末まで行った事業所訪問などについて説明、町への相談や連絡など留守家族を通じて密にするよう呼びかけました。

懇談会では「出かせぎ留守中に困っていることがないか」という小松町長の設問に対して①税金の申告で記入することが苦痛という声があったほか②末端部落まで除雪を徹底してほしい③災害個所の復旧を早くやってほしいなどの要望が出され、町長が可能な限りやって行きたいと等と答え留守家族の期待を大きくしました。



朋楽荘大広間に身動きできないほどつめかけた留守家族たち

映画や演芸会も

さらに、出かせぎの留守を守る主婦たちが中心となり共同での生産活動に取り組み、出かせぎ解消に立ち上がった実録映画「母親牧場」などの鑑賞も行い、盛会の中に意義ある懇談会となりました。

午後は町が準備した折詰等で留守家族同志の親交を深めたほか、廊下をステージに町民謡同好会(伊東国男会長)有志の慰問演芸会が開かれ、後を断たないほど留守家

子どもの目



佐々木先生と一緒に東北電力東由利出張所を取材する伊佐子さんと幸一君

「電灯・テレビ・洗たく機・冷蔵庫・スチーマー・そのほかなど数えあげればきりがありません。わたしたちは電気の恩恵をうけています。」

空気や水、食物と同じように重要な電気はどのようなにしてわたしたちのところにきているのだろうか。

二月六日、わたしたちは佐々木先生といっしょに東北電力の東由利出張所に行き、電気について取ざいました。

東北電力出張所の巻

電気を起こすのは水力や火力のほか原子力があり、地熱発電の方法も研究され

町内の電柱3,300本も

見学取材者蔵小5年 石渡伊佐子さん

石渡 幸一 君

ここには三人のおじさんがおり、少しの間も電気をとめず、電線や電柱を守る仕事をしているという事です。

電気の故障の原因は、台風、大雨や大雪などで電柱が倒れたり電線が切れたときに起こり、最近では、ビニールダコが電線にひっかかって起こることも多くなっているそうです。

「切れたときに起こり、最近では、ビニールダコが電線にひっかかって起こることも多くなっているそうです。」

「雪のつかない電線もつくられていて、全部これにかえるとすれば、大金がかかるそうです。」

「わたしたちがなげなく使っている電気が、使い方がよければ、感電したり火事になったりするなどの、大へんきけんもあるそうです。法内の火事の時もおじさんたちは、まず先に現場にかけつけ、感電しないようにしたそうです。」

「このほか、東北電力では電気に関する学習会を開いたり、工場公園をつくらしたりして、市民サービスにも力を入れているそうです。」

「便利な電気を、わたしたちが安全に使えるよう、日夜がんばっているおじさんたちのために、電線の近くでタコをあげたり、きけんな使い方をしないようにしなければならぬと強く感じました。」

全日制「下郷分校」競争率一・一一倍に

族の飛び入りが続く盛況のひとときを過ぎました。

高校受験が間近に迫り、受

験にのぞむ三年生は最後の追い込みに励んでいる時期です。家族みんな最後の仕上げに細かい思いやりを示しましょう。

めきられ、全日制移行二年目を迎えた本荘高校下郷分校の受験希望者は、定数四十六名に対して五十一名で、競争率は県内公立高校平均をわずかに上回る一・一一倍に達しています。

51年度 予算編成作業大詰め

前年比26%増、初の11億円台に?

一般會計

▼ 厳しい地方財政の中で、昭和五十一年度予算案の編成作業が大詰めを迎えています。一般会計予算規模は前年度当初比約二六%増で初の十一億円台になるものと見込まれています。

この大幅な伸びの最大要因は、五十年八月災害の復旧事業費約一億七千万円が計上されるためであり、人件費や物件費など義務的経費は前年比八割程度の伸びにお

響で、地方交付税財源となる法人税など国税三税の減収があげられ、これまで毎年二〇割前後の伸びを示していた地方交付税が五十一年度では一割程度しか見られていないことが大きな特徴です。

それに災害復旧や道路関係などを中心とする起債の額が前年の三九割増で計上され

歳入総額の一四割を占めることもあげられます。

町財政のこうした窮迫の一因に福祉医療費の増加なども考えられますが、町では経常経費はできるだけ圧縮し、厳しい中にも生活環境整備や福祉を後退させない予算案にしようとの最後のつめを急いでいます。

小田山スキー場で初の大会開催

昨秋、蔵小学校PTAがやぶ地を刈り払って造成した小

易、または同和混血、宗教(仏教)による教化などの過程を経ながら狩猟から稲作へと移行、これに要した期間も二三百年に及ぶと考えられる。

この時代がいつ頃かと言うと由利の棚、秋田城、仙北の私田の棚などが造られた飛鳥時代よりかなりくだって、平

土石器・遺物は「宝」……

発見と整理保存を

井島久三郎

つまりアイヌまたは別種族の両論はあるが、いずれ狩猟を目的に高瀬川をさかのぼり狩猟小屋を設けて住みつくようになつたものと思われる。そしてこの先住民の居住生活期間は相当長い期間であり、日本人の祖先が住むようになってから現在にいたる

ふるさとに寄せる (下)



区に入つたかについては、おおよその推定はできるものの、私たちが考えているよりは大部おそい年代でないと推考される。

そして、ちょうどアイヌ人が和人におかれた北海道の例のように武力(武器が石器で前者の鉄器とは全くちがっていた)あるいは交

安時代の後期でないかと推定される。しかし、学界で問題となつていいる中山郷「助河駅」が宿大琴の有力説であることから、これが東由利地内であると確定すれば、郡内では最も早く開けたことがその年月とともに判明するので、飛鳥時代までさかのぼることになる。

現在、東由利が記録に残っている最も古い文献は何か。これは歴史を知る上で最も重要な点と言えるので、全町民

も早く開拓されたことが、各種資料で裏づけられている。こうして今より約五百年ぐら

現在の東由利が記録に残っている最も古い文献は何か。これは歴史を知る上で最も重要な点と言えるので、全町民

が常に関心をもち、この発見につとめることが肝要と言え

文字による記録は、書く人の推理や誤記、また聞き違いがあり勝るものに比べ、土石器遺物は、無言の中に当時の真実を語る貴重な宝である。

年代が下って、戦国・桃山・江戸時代になると色々記録もあり、町内にも古文書が保存されていると思われるので、これらの発見と整理保存にもつとめなければならぬ。



大会風景 (菅原校長撮影)

か、電気に対する知識を高め合つたと言われます。

「婦人電気教室」閉講

本荘市で10周年記念式も

東北電力本荘営業所の大渡され、通算八回にわたる学習の労がねぎらわれたあと、受講生それぞれが閉講以来の思い出を語り合い楽しいひとときを過ごしました。

同講座は五十一年度も開催が予定され、四月か五月頃には受講生の募集が行われるという事です。

電話の新設と改番

このほど次のとおり電話の新設と改番がありました。

【新設】▶鳥電子(株)2042番▶渡辺勝男(下小路)3137番▶長谷山貞子(横小路)3138番▶東由利ニット(大琴)3430番▶永慶保育園(蔵)3101番▶嶽石友治郎(五海保)3016番。

【改番】遠藤光蔵(新田)3017番▶畑山松男(宮ノ前)3018番▶佐藤謙(寺田)3007番▶小野与四雄(同)3005番。

電話料は口座振込みで

東由利電報電話局では、電話料の払い込みは、便利な口座払い込み(農協か信用金庫の預金口座から自動的に払い込まれる方法)にするようぞんでいます。

口座払い込みの手続きは、預金通帳に用いている印鑑を添え、窓口でその旨を伝えるだけで簡単にでき、以後毎月自動的に払い込まれ領収証が各戸に配られます。